



編集後記

今年度、手探り状態からスタートしたこの「sipeto」ですが、インタビューや設置にご協力いただいた皆様、読者の皆様に支えられ、何とか1年間駆け抜けることができました。本当にありがとうございました。

今回取り上げさせていただいた2団体様もそうですが、地域産業のために、子供たちのために、地域のために、自分たちに何ができるのかといった考えから活動をスタートさせ、活動されている方々自身が活動を楽しみ、やってみたいことに挑戦するといった共通点がありました。こういった活動の魅力を伝え、挑戦を後押ししつつ、私たちも新しいことへ挑戦していきたいなと思っています。

私は人との繋がりは貴重な財産だと思っています。Ynet.として活動していく中でたくさんの方々との出会い、様々な意見に触れることができました。この繋がりを活かして、標津町のこれからの皆様と一緒に考えていければと思います。次年度も更に標津町を知ってもらおうべく活動をしていきたいと考えていますので、皆様が標津を知る、標津が好きになる、そんな一助となれば幸いです。

(Y)

— Special Thanks! —

- | | | |
|---|---|---|
| あかつきダイニング
A マート
川北郵便局
郷土料理武田
ぎんれい精肉店
くるくる2
合田商店 | 後藤商店書店部
標津漁協直売所
標津郵便局
セイコーマートこんどう標津店
セイコーマート標津まるよし店
セブンイレブン標津町店
大地みらい信用金庫標津支店 | ファミリーレストランいしばし
福住
ホームマックニコット
Kuni OFFICE
標津高校ボランティア部
標津町観光ガイド協会
*五十音順・敬称略 |
|---|---|---|

Follow us on Facebook & Instagram & Twitter !!!

記事に収まらなかったこぼれ話やインタビューの様子などを更新！検索してみてくださいね。



— Information —



2019年2月9日発行
発行人 Ynet.
発行所 〒086-1632
北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号
標津町役場企画政策課内
TEL.0153-82-2131
FAX.0153-82-3011

- バックナンバーのご希望は上記までご連絡ください
- 次回発行は2019年4月の予定です

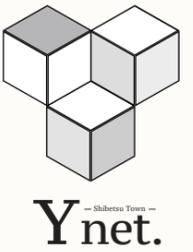
しべつろーかるふりーべーばー

sipeto

Shibetsu Civic Pride Project by Ynet.

[CONTENTS]

発刊にあたって / 活動紹介 / インタビュー 08 標津高校ボランティア部 - 09 標津町観光ガイド協会 / 編集後記 / and more



発刊にあたって

皆さんこんにちは。本紙を手にとっていただきありがとうございます。私たち「Ynet.」は町民活動の活性化、町内ネットワークの拡大・構築を目指し組織された役場職員で構成するグループです。標津町には様々なまちづくりに関係する活動をしている団体や個人の方がいて、実際にお会いしてみると、標津町にはこんなにも味わい深い人たちがいるね、っと気づかされました。本紙の表題「sipeto(シベト)」は標津の語源になったとされるアイヌ語「シベツ」と日本語の「人(ト・to)」を掛け合わせた造語で、標津に住む活動的な方々をたくさんの方に知っていただきたく名付けました。

sipeto を通じて人の活動に込められた『想い』に触れて、知って、共感して、共に活動する方が一人でも増えることになればうれしく思います。

Ynet.

Introduction of this "sipeto"

--- 標津高校ボランティア部 ---

標津高校に10ある部活の一つ。募金やチャリティー販売、地域のイベントのお手伝いボランティアなどを行う。販売用の製品作りからイベントの司会まで、幅広く活動する。



Report //////////////////////////////////////
冬休み直前の放課後、標高吹奏楽部のクリスマスコンサートが開催されました。このコンサートは生徒向けの手作りイベントで、ボランティア部も受付や飾りつけを担当。さっと看板を書いたり、手作りアクセサリーを売ったりと忙しい様子。コンサート開始後もお客さんに配るお土産を用意しながら、他の生徒や先生たちと出し物を思い切り楽しんでいました。標津で高校時代を過ごすことを選び、地域で活動したいと思ってくれた彼らに、この地で楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

--- 標津町観光ガイド協会 ---

標津町の体験型観光の推進にあたり、主に教育旅行を中心に、サケ荷揚げ見学やクラブづくり体験、酪農体験、生キャラメルづくり、ポー川カヌー体験、北方領土学習などの体験メニューのガイド・インストラクターとして活動。また、ガイドの育成を目的にスキルアップ研修や新たな体験メニューの研究開発などに取り組んでいる。



Report //////////////////////////////////////
ガイドの方に案内してもらえると、普段見慣れている風景やいつか見たその景色は、まるで違うものを見ているような感覚になります。それは、これまで気づかなかった標津の魅力や改めるに知ることになったりします。ガイドの役割は、外から訪れる人に標津の魅力を伝えることだけではなく、自分自身の新たな気づきを得る学びの場でもあるんだと思いました。標津のまだ知らない魅力を感じてみたい方はぜひガイドにチャレンジしてみたい方が多いのではないでしょうか。

今回インタビューさせていただいた方たちの活動紹介

Touch, Know, Sympathize.

Interview

想いを言葉にする。

08

標津高校 ボランティア部

---SHIBEKO BORABU---

活動を通じて
地域に貢献したい。

写真：上段左から斉須さん、小松さん、大隅（颯）副部長、本多さん、下段左から大隅（望）副部長、合田さん、佐賀部長、小山内さん



一現在の構成メンバーについて教えてください

佐賀）現在は、2年生が6名、1年生が2名の合計8名で、顧問は3名です。

一どのような活動をしていますか

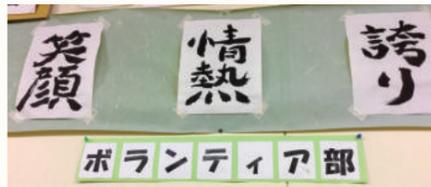
佐賀）今は、学校行事などでチャリティー販売をしています。ミサンガやレジン、トンボ玉を制作して販売しています。あとは、週に1回、学校体育館の更衣室の掃除なども行っています。そのほかは町内イベントのお手伝いですかね。

一町内イベントはどのようなものに出ていますか

佐賀）水キラリで、キラリ社中の屋台のお手伝いや縄文祭りのお手伝いです。その他にも夢ふうせん祭りなどにも出ています。

一今一番力を入れている活動は

佐賀）クリスマスコンサートのチャリティー販売の準備です。チャリティー販売の収益は胆振東部地震に募金にしています。



ボランティア部の部室に貼ってある標語

一活動してきた中で苦労したことや良かったことは

佐賀）苦労しているのは、今年はあまり部員が集まらなかったことです。良かったことは、活動してきた中で、相手の方からお礼を言われたことです。町民の方からはまた来てほしいと言われます。

一今後の展望や目標はありますか

佐賀）今は、チャリティー販売くらいしか生徒の前でできていないので、もう少し、生徒の前でできる活動を増やしていきたいと思っています。あとは、

私たちが学校を卒業しても後輩が続けられるような活動を残していきたいと考えています。

一もっと地域に出て活動したいということはあるですか

佐賀）町内イベントでもチャリティー販売ができればよいと考えています。

一ボランティア部に入ったきっかけは

佐賀）友人に誘われて活動見学した際にレジンなどを作っていて、自分もこういう活動ができたらいなと思いつきました。

一ボランティア部で将来役に立つスキルは

佐賀）人前に出て活動することが多く社交性が身につくので、そこが一番役に立つと思います。

一標津高校を選んだ理由は

佐賀）地元なので、地元の高校ということもありますし、体験入学の際に進路の相談にも親身になってくれるので、選びました。

一標津高校に入って良かったところは

佐賀）進路について親身に相談に乗ってくれることやいろいろな資格を取る際も全力で支援してくれるところは、誇りに思います。

合田）私は部活にも入りたいたので、恵盟寮に入りました。恵盟寮は築年数が古いので、廊下で歩いている音が聞こえたりしますが、部屋の中は過ごしやす



インタビュー時の部員と顧問の西村先生

いです。寮母さんのご飯も美味しいし、社会に出たときのアドバイスもしてくれるのでありがたいです。

一こんなボランティアをしてみたいということは

佐賀）児童館のお手伝いも再開したいなとは思いますが、まだ参加できていないイベントにも参加してみたいです。

合田）海岸の清掃活動などもやってみたいです。

一今後のイベントでPRしたいものはありますか

佐賀）PRしたいことは、部員の募集ですね。

合田）力仕事もあるので、できれば男手がほしいです。

一標津町にあったら良いものはありますか

合田）サケやイクラばかりではなくて、農産物をメインにしたお祭りもあったら良いと思います。牛乳もあるし野菜だって採れるし。サケとイクラのイベントは北海道の色々なところでもあるし、標津町にはもっとおいしいものがあるよとPRしたほうが良いと思います。

小山内）尾岱沼から通っていますが、帰りのバスが16時40分の次が19時20分までないので、部活も最後まで出られないのが不便です。もう少しバスの便数があれば良いと思います。

佐賀）もう少し職業体験やお話を聞ける場面が増えたら、どんな仕事をしているか興味を持ってもらえるので、そういう機会が増えたら良いなって思います。

小松）学校帰りに遊びに行くところがほしいです。合田）図書館に個室がほしい。色々な人がいるので、落ち着かない。椅子が少なく、通路側にあるので、落ち着かないんです。

一何かやりたいことがあれば教えてください

合田）水キラリでチャリティー販売はしたい。募金で集めたお金ではまなす苑などに車いすを寄贈するなど、目に見えて喜ばれる形で地域に貢献していきたいです。

09

標津町観光ガイド協会

---GUIDE KYOUKAI---

標津町の魅力を多く
の方に伝えたい。

一団体が活動し始めたのはいつ頃からでどんなメンバーですか

川畑）平成13年の5月からです。その時は27~28人くらいいました。とにかく自分達で主体的に活動する組織を作ろうという想いで始まったんですよ。

小笠原）教育旅行の受け入れの取っ掛かりの時、その為にはそういうインストラクターがいなくてダメという事で暇を持て余してる父さん母さんに声をかけて始まった感じ。

一教育旅行の受け入れをやるようになったきっかけは

小笠原）町が観光振興に力を入れ始め、その中で行政だけでは動ききれない。「受け皿となってくれる町民の皆さんが担ってくれるのが一番良いよ」という話も聞き、他の実例を検証させてもらってそうだった。それが始まりです。

川畑）営業活動を行い一校でも二校でも来ていただき、それを私たちが実際に受け入れをやる事によって、ガイドの役割りや楽しさが少しずつ分かってきた。小笠原）自分達は町民として少しでも交流人口が増える事で町が活性化の一助になればいいと思うんだよね。

一今まで一番苦労したことは

小笠原）修学旅行の受け入れが集中すると、ガイド料を頂くのに見合うだけのことをしてあげられたかなという反省がある。

川畑）一番はガイドの数。人のやりくりが大変。もっと多くの人が関わってくれたらもうちょっと落ち着いてガイドもできる。

井南）ガイドが高齢化してるんですよ。我々もあと何年頑張れるかわからない。例えば、専業主婦の方



で少し時間があるよとか、是非そういう時間の取れる方、手を貸していただきたい。自分達は年齢的な危機感を感じている。ガイドが楽しいなと思ってもらえれば良いと思う。

小笠原）皆さんにも私たちの活動を知ってもらおうということが大事ではないかなと思う。興味あればどんどん声をかけて欲しい。町を知ってもらいたい。

一活動していて良かったことは

井南）良かったことは沢山ありますよ。例えば葉書をもらったとか感謝状をもらったり。小学生に帰りに抱きつかれたりとか。

小笠原）感謝と喜んでもらえるのが一番励みになる。「また来るからね」と言われたり。山上）自分達が楽しんでるところもあるんだよね。自分にとって生きがいみたいになってるから。川畑）みんな来た時は「なんでこんなところに来たのかな」という顔してるんだよね。でも帰る時は手を振って「またね」と喜んでくれる。村山）「楽しかった」とか「来て良かった」と言われるとやっぱり嬉しい。

一今後の展望や目標は

川畑）やっぱりちゃんとしたコーディネート組織を作って、営業もちゃんとして次に繋がるような仕組み作りが必要だと思う。

小笠原）あとは、技術をしっかり身に付けること。例えばカヌーは命に関わることなので技術をもっともっと向上して行く必要があるよね。危機管理も含めて。

井南）国が外国の人をたくさん受け入れようとしてる中で、標津町も早く一生涯命やらないと。

一町への愛着や誇りなどは

井南）やっぱり愛着がないとお客さんも案内できないよ。標津町にはこういう良いところがあるんだよ、魅力があるんだよということを言うのは、少なくとも標津町が好きで愛着があるからみんなに教えているんだよね。



写真：上段左から川畑会長、井南さん、小笠原さん
下段左から村山さん、山上さん

川畑）アウトドアのガイドは標津の自然が魅力的だからガイドしているのであって、食のガイドは標津の食がとても良いからそれを伝えたいと思ってやっているわけで、ガイドの種類によって関わる人が変わったりするよね。

小笠原）魅力があるから、それを誇りにやっているということだよ。これ美味しいよ、「この夕日は素晴らしいよ」と言える。そういうものが愛着なのかな。ずっと住んでると気がつかない。でも「おお意外といいじゃん」というところがたくさんある。

一標津の魅力を伝えるために必要なことは

井南）町民が町の魅力というのを気がついてないんだよね。標津町って単純に山菜はなんぼでも採れるし、魚釣りにいけば二桁、三桁も釣っちゃう。ポー川には日本一の遺跡群があるとか、場所によっては熊やオオワシが見える。外国の人は一日何十万円も払ってそれだけを見に来るんだから。それはすごいことなんだよって教えるべきなんだよね。

川畑）外から来た人たちが標津町をどう感じたかを直接聞ける機会がガイドなの。だからたくさん町民の方にガイドになって欲しい。そしてその魅力を逆に発信して欲しい。活動を通して町の魅力を再発見し、それを誇りに思える活動を今後も続けて行きたいと思う。